

リベラルアーツ学部

リベラルアーツ学科

人材養成等教育研究に係る目的

リベラルアーツ学部では、「幅広く深い教養および総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養する」ための教育を推進し、将来のキャリア形成を意識しながら、「学際的教養教育」かつ「知の基盤」の充実を図ることを目指しています。さらに、価値観の多様化・複雑化した現代社会では、時代の変化に柔軟に対応しつつ、調和の取れたコミュニケーション能力のある人材が求められており、その実現に向けて、実験・実習・調査・フィールドワークなどの体験型学習を積極的に取り入れ、地域や企業との連携を図り、社会的経験を積みながら「コミュニティの知的リーダー」となる人材の育成に努めています。具体的には、次のような学生を育てていくことを心掛けています。

- ① 広い視野、判断力、考え抜く問題解決能力があり、積極的かつ協力して社会に関わっていけるコミュニティのリーダーになれる人。
- ② 基礎基本を土台に専門性を身につけ、様々なプロジェクトを実践・推進できる人。
- ③ 英語力・日本語力・デジタルコミュニケーション力があり、わが国の文化を様々なかたちで世界に発信できる人。
- ④ 生涯教育を可能にする「ラーニング・コミュニティ」を意識し、生涯にわたり学び続ける気持ちを持ち、社会にその知識を還元・推進できる人。

リベラルアーツ学部 ディプロマ・ポリシー

リベラルアーツ学部では、以下のような能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

- ① 全学共通のユニバーシティスタンダード科目を中心に幅広い履修を通して基礎的な学修力を高め、批判的な思考を通して問題を探求する能力を身につけ、各自の将来について明確な展望をもつ。
- ② 各専攻（メジャー）における体系的な学修を軸に、4年間の「講義」「演習」「実習」や「卒業プロジェクト」を通して、自ら課題を設定し、分析し、解決する力を身につける。
- ③ 他専攻、他学部の科目履修を含めた領域横断的な学修により、複合的な視野を高め、多様な価値観を認識し、自らの価値観を形成し、自分の考えを相手に理解してもらえるコミュニケーション力を身につける。
- ④ 現代に生きる地球市民のひとりとして、多様な人や文化と共生でき、課題解決のために、知識を現場に活用する力、行動する力を身につける。
これらの力を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定する。

【領域・メジャーの履修において身に付ける力】

■ヒューマン・スタディーズ領域

人間探究を通して現代社会で生きる力を養う。人間に根本的な哲学や宗教の問題、人間の成長や発達・行動の仕組み、人間の行動の社会的要因について、批判的・論理的に思考できる力を養う。

●哲学・宗教

物事を根源的・批判的に考察し、さまざまな問題を包括的に捉えることができる。人類の歴史や思想を宗教的な観点から深く理解し、多文化共生の課題解決のために貢献できる。

●心理学

心と行動の仕組みを実証的に研究する方法やその理論を身につけることで、社会、地域、組織、家族におけるさまざまな問題に対して貢献できる。

●社会学

現代社会の問題を、社会理論と実証的データに基づいて理解・分析し、その知見の活用を通じて具体的な問題解決に貢献できる。

■ジャパン・スタディーズ領域

グローバル化した世界の中で「日本」を客観的に理解し、発信し、現代社会と関わる力を養う。

●日本語・日本文学

日本語についての正しい理解を基盤にした高度な日本語表現能力や日本語教授の実践力、さらに過去から現代に至るまでの文学作品を読み込んでいくことで養った批判的思考力や発信力により現代社会における諸問題の解決に貢献できる。

●日本学

人間の生活や思想などを多様な観点から広く追究しつつ、生活の全分野にわたる伝承文化をとらえて日本の基層文化を理解し、現在の日常・非日常における文化状況や社会状況を正しく分析し発信する力を身につける。

■グローバル・スタディーズ領域

国際関係を核に世界と関わる力を養う。

●国際関係

現代日本の現況を国際関係の観点から考察し、国際協力をとおして具体的な問題解決に貢献できる。

■STEMスタディーズ領域

情報技術や科学と現代社会のつながりを学び、未来社会に必要な技術と関わる力を養う。

●STEM

現代科学に関心を持ち、科学と現代社会の関わりについて考察し、多様な分野を科学的・実証的に考察・判断する力を身につける。